

地球温暖化防止

エコラム ECO-LUMN

Vol.95

〒地球温暖化対策室

☎295100

待機時消費電力を減らそう

今年の冬は、お正月から寒い日が多い気がします。ご家庭でも暖房器具が大活躍だったことでしょう。

今年に限らず、冬には暖房などによりエネルギー消費量が大きく増加します。資源エネルギー庁は2月を「省エネルギー月間」とし、省エネルギー意識の定着を図るための呼び掛けをしています。省エネは、電気などのエネルギーを安定的に供給できるように確保する目的と地球温暖化を防止する目的を満足するライフスタイルです。

日本のエネルギー消費動向を部門別に見ると、第一次石油ショック前の1973年から産業部門は微減で推移していますが、民生・運輸部門はほぼ倍増しています。特に家庭やオフィス

などでは、約2・4倍に増加しています。

多くの家電製品はリモコンで電源を切っても待機時消費電力を消費しており、それは家庭の消費電力の約5%を占めています。待機時消費電力のうち、リモコンなどの指示待ち状態で消費する電力は、主電源を切ることで削減できます。内臓時計などの機能維持に消費する電力やコンセントにプラグを接続しているだけで消費する電力は、機器のプラグをコンセントから抜くことで削減できます。最近では、待機時消費電力の小さい製品も多くなってきました。買い換えることも選択肢の一つです。

知らないところでエネルギーを無駄に消費しないよう気を付けましょう。



ごみ

ちょっと気にして、
もっと気にして!

環境事業課 ☎315304
総合支所

危険動物撃退用の催涙スプレー缶の捨て方

クマやイノシシなどの危険動物撃退用や防犯用の催涙スプレー缶は、穴を開けずに「処理困難ごみ」に出してください。

通常、スプレー缶類は、使い切った穴を開けたものは「かん類」に、穴が開けられないものや中身の残ったものは「処理困難ごみ」に出すことになっていますが、催涙スプレー缶は、穴を開けると中身が噴き出す恐れがあり、催涙スプレーを浴びると喉、鼻、目や皮膚に強烈な痛みや熱さを感じるなどの症状が現れ、危険です。

皆さんのご協力をよろしくお願いします。

■ごみ処理家計簿

減量効果		12月分(前年同月比)
増	処理費用換算	+50万円
減	排出量 (1人1日当たり)	925g(+4g)

※処理費用は、処理に要する経費と排出量から単純に計算したもので、実際の金額とは異なります。



▲危険動物撃退用の
催涙スプレー缶